

SC販売統計調査報告 2020年6月

既存SC前年同月比 : ▲15.0%

営業再開に伴い前月から売上を大きく改善

<全体概況>

- ・6月度の既存SC売上高は総合で前年同月比▲15.0%となった。休業していた首都圏などのSCも営業を再開し、前月(▲61.4%)から46.4ポイント増と大幅に改善した。新型コロナウイルスの影響により前年と比較して客数は減少したが、外出自粛疲れの反動や値引き販売の実施などもあり、客単価が向上したSCもみられた。テナントは前月(▲69.1%)から52ポイント増の▲17.1%まで回復し、キーテナントは生活必需品を扱う食品スーパーやGMSなどが堅調で▲7.0%と一桁台まで回復した。
- ・立地別・構成別(表1)では、来館手段として公共交通機関の利用が多い中心地域・大都市のSCは客足の戻りが鈍く、▲30.8%と苦戦が続いている。一方、近隣住民の利用が多い地域密着型SCとマイカーでの来館が主となる郊外型SCが多数含まれる周辺地域は▲9.9%とマイナス幅一桁台まで改善した。キーテナントは立地により明暗が分かれ、百貨店の割合が高い大都市は▲32.9%と大幅なマイナスであった一方、食品スーパーやGMSの多い周辺地域は▲1.9%まで回復した。
- ・立地別・地域別(表2)をみると、全ての地域で前年同月実績を下回ったものの、下げ幅は大幅に改善した。北海道地域は大都市である札幌市の苦戦により▲22.9%となったが、その他8地域は▲10%台の下げ幅まで回復した。
- ・都市規模別・地域別(表3)をみると、総合で大都市は▲22.3%、その他の地域は▲9.5%となった。大都市は5月(▲69.3%)から大幅に改善したものの、客足が戻りきらず厳しい状況が続いている。大都市で下げ幅の大きかった福岡市(▲33.5%)や札幌市(▲24.3%)はインバウンドの減少もマイナスに影響したと推察される。
- ・業種別の動向を見ると、6月は気温が高めに推移したことや、営業再開時から値引きを行ったこともあり、春物衣料に動きがみられた。また、マスクなど新型コロナウイルス感染予防に関する衛生用品なども引き続き好調であった。一方、飲食は宴会や会食を自粛する傾向がみられ、かつ密を避けるため客席を減少して営業していることもあり、苦戦が続いている。また、密への心理的懸念からかシネマなどのサービス系も厳しい売上となっている。

・調査サンプル数:478SC (回収率47.8%)

・本調査は、2018年12月末現在の全3,220SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、集計・算出しています。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント
総合	478	▲15.0	▲17.1	▲7.0
地中 域心	大都市	▲30.8	▲30.5	▲32.9
	中都市	▲15.0	▲16.4	▲6.7
	小計	▲26.0	▲26.1	▲24.9
周辺地域	344	▲9.9	▲12.4	▲1.9

(注)

■立地

中心地域:人口15万人以上の各都市(東京23区を含む都市)で、商業機能が集積した中心市街地
周辺地域:上記中心地域以外の地域

■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市
中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

立地(SC数)	地域										
	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
総合	478	▲15.0	▲22.9	▲14.1	▲15.8	▲15.9	▲16.0	▲11.8	▲10.1	▲12.2	▲17.0
中心地域	134	▲26.0	▲24.7	▲28.3	▲24.0	▲34.9	▲42.2	▲26.7	▲16.3	▲4.5	▲34.3
周辺地域	344	▲9.9	▲19.4	▲7.4	▲11.2	▲11.0	▲5.1	▲7.4	▲8.0	▲13.8	▲5.2
(SC数)	478		16	28	203	54	29	83	25	11	29

(注)

■地域

北海道:北海道

東北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北陸:新潟県・富山県・石川県・福井県

中部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	478	▲ 15.0	▲ 17.1	▲ 7.0	
大 都 市	札 幌 市	11	▲ 24.3	▲ 24.3	-
	仙 台 市	5	▲ 21.3	▲ 21.3	-
	千 葉 市	6	▲ 17.7	▲ 17.7	-
	東 京 区 部	56	▲ 26.5	▲ 28.4	▲ 21.7
	横 浜 市	19	▲ 15.9	▲ 16.7	▲ 12.0
	川 崎 市	9	▲ 16.4	▲ 17.7	*
	名 古 屋 市	12	▲ 25.2	▲ 26.6	▲ 19.9
	京 都 市	5	▲ 16.3	▲ 29.8	3.2
	大 阪 市	17	▲ 22.8	▲ 24.3	4.5
	神 戸 市	17	▲ 8.8	▲ 10.5	0.7
	広 島 市	6	▲ 13.9	▲ 13.9	*
	北 九 州 市	2	*	*	*
	福 岡 市	9	▲ 33.5	▲ 35.6	*
	小 計	174	▲ 22.3	▲ 23.6	▲ 16.3
	そ の 他 の 地 域	北 海 道	5	▲ 17.3	▲ 21.0
東 北		23	▲ 10.8	▲ 13.0	▲ 4.0
関 東		113	▲ 8.4	▲ 9.7	▲ 3.1
中 部		42	▲ 13.2	▲ 15.4	▲ 3.6
北 陸		29	▲ 16.0	▲ 26.1	▲ 0.6
近 畿		44	▲ 7.2	▲ 10.0	0.1
中 国		19	▲ 9.4	▲ 12.7	▲ 0.6
四 国		11	▲ 12.2	▲ 22.5	▲ 1.0
九 州・沖 縄		18	▲ 7.0	▲ 10.6	3.1
小 計	304	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 1.7	

※「その他の地域」には、大都市は含まない。

* : サンプルが少数のため個別の値は公開していない。

表-4 キーテナント業態別
売上高伸長率

キー業態	SC数	総 合
総 合	478	▲ 15.0
核なし	269	▲ 18.6
1 核	Dpt	14 ▲ 18.4
	GMS	104 ▲ 7.5
	SM	42 ▲ 8.6
	SS	1 *
	HC	1 *
	専門店	5 ▲ 30.0
	生協	6 2.2
	Dgs	2 *
	小 計	175 ▲ 11.2
	2 核	24 ▲ 12.5
	3 核 以上	10 0.5

* : サンプルが少数のため個別の値は公開していない。

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積	売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均面積 (㎡)	
		(千円)	前年比	(実効㎡)	前年比				
SC総合	総合	478	452,552,048	▲ 15.0	9,803,469	0.1	946,762	152	20,509
	中心地域	134	125,666,169	▲ 26.0	1,896,759	0.6	937,807	219	14,155
	大都市	64	81,141,114	▲ 30.8	1,121,981	0.6	1,267,830	239	17,531
	中都市	70	44,525,055	▲ 15.0	774,779	0.7	636,072	190	11,068
	周辺地域	344	326,885,879	▲ 9.9	7,906,710	0.0	950,250	136	22,985
テナント	総合	478	348,528,877	▲ 17.1	7,303,871	0.2	729,140	157	15,280
	中心地域	134	107,021,677	▲ 26.1	1,668,167	0.7	798,669	212	12,449
	大都市	64	69,589,009	▲ 30.5	1,000,536	0.7	1,087,328	230	15,633
	中都市	70	37,432,668	▲ 16.4	667,632	0.6	534,752	185	9,538
	周辺地域	344	241,507,200	▲ 12.4	5,635,704	0.0	702,056	141	16,383
キーテナント	総合	209	104,023,171	▲ 7.0	2,499,598	▲ 0.1	497,719	137	11,960
	中心地域	23	18,644,492	▲ 24.9	228,592	0.2	810,630	269	9,939
	大都市	6	11,552,105	▲ 32.9	121,445	▲ 0.7	1,925,351	314	20,241
	中都市	17	7,092,387	▲ 6.7	107,147	1.3	417,199	218	6,303
	周辺地域	186	85,378,679	▲ 1.9	2,271,006	▲ 0.1	459,025	124	12,210

注:売上高(総合)は、調査対象478SCの合計値です。

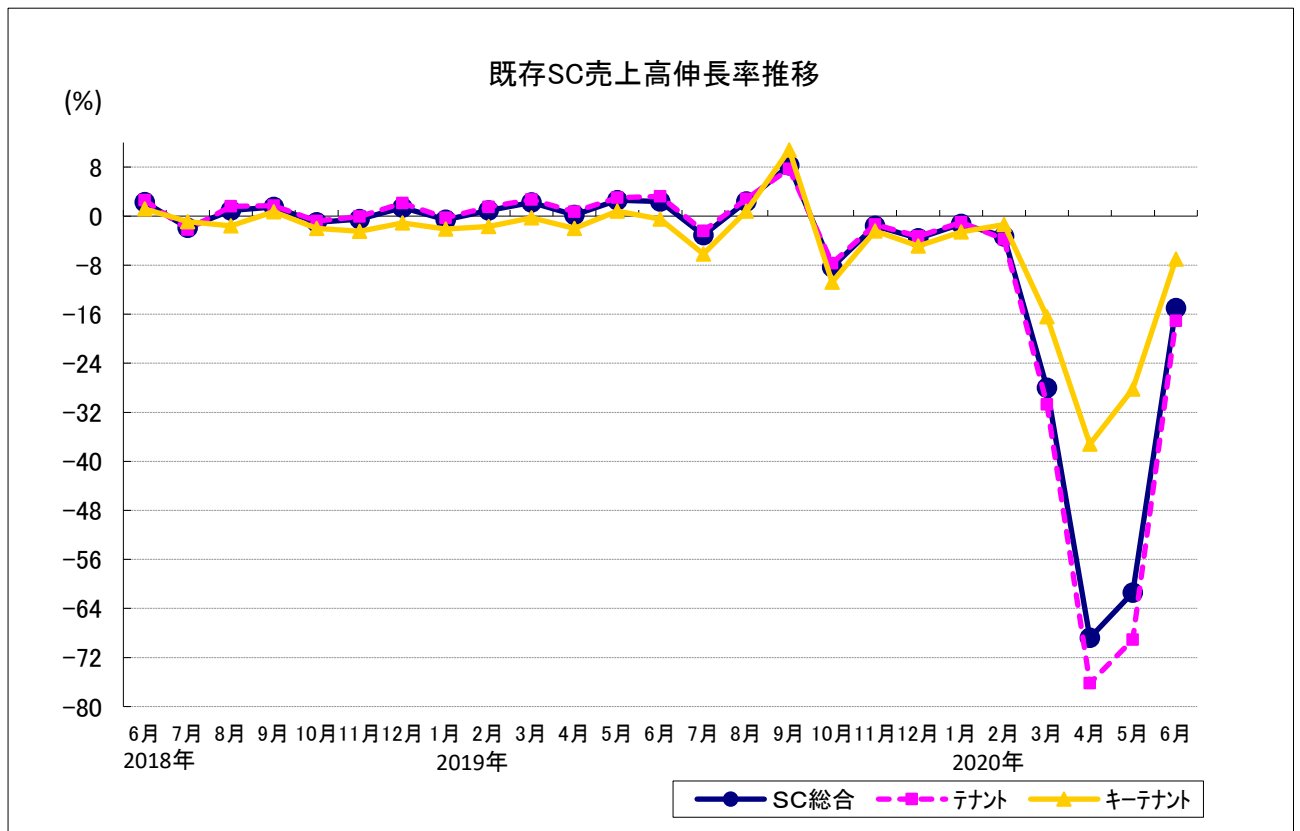


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 2.2	▲ 5.1
	01年	▲ 2.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 5.2
	02年	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.1
	03年	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 3.2
	04年	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.5
	05年	0.3	1.5	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 2.6
	06年	0.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 2.7
	07年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.4
	08年	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 4.3	▲ 0.7
	09年	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 10.1	▲ 4.3
	10年	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.6
	11年	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.8
	12年	0.5	1.5	▲ 1.6	0.3	▲ 1.9
	13年	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.3	1.6	▲ 0.7
	14年	0.1	0.5	▲ 0.9	0.3	▲ 0.6
	15年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7
	16年	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.9	▲ 0.4
	17年	0.6	1.0	▲ 0.9	0.1	▲ 0.9
	18年	0.6	1.0	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 0.2
	19年	0.4	0.8	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 1.8
2019上半期	(1～6月)	1.3	1.7	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.3
2019下半期	(7～12月)	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 2.3
2020上半期	(1～6月)	▲ 30.3	▲ 33.8	▲ 16.0		0.4
2019四半期別	(1～3月)	0.9	1.4	▲ 1.4	▲ 0.9	▲ 1.8
	(4～6月)	1.7	2.1	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 0.7
	(7～9月)	2.5	2.9	1.2	6.8	▲ 1.7
	(10～12月)	▲ 4.3	▲ 3.9	▲ 5.7	▲ 8.8	▲ 2.9
2020四半期別	(1～3月)	▲ 11.7	▲ 12.9	▲ 7.1	▲ 16.8	0.8
	(4～6月)	▲ 48.8	▲ 54.7	▲ 24.7		0.1
2019 月別	1月	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 2.1	▲ 2.9	▲ 3.4
	2月	0.9	1.5	▲ 1.7	0.4	▲ 2.5
	3月	2.2	2.7	▲ 0.3	0.1	0.5
	4月	0.2	0.7	▲ 2.0	▲ 1.1	▲ 1.0
	5月	2.6	3.0	0.8	▲ 0.8	▲ 0.7
	6月	2.4	3.2	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 0.7
	7月	▲ 3.1	▲ 2.4	▲ 6.2	▲ 2.9	▲ 7.1
	8月	2.4	2.8	0.8	2.3	▲ 0.3
	9月	8.3	7.7	10.8	23.1	2.8
	10月	▲ 8.3	▲ 7.7	▲ 10.8	▲ 17.5	▲ 4.1
	11月	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 2.4	▲ 6.0	▲ 1.4
	12月	▲ 3.6	▲ 3.3	▲ 4.9	▲ 5.0	▲ 3.3
2020 月別	1月	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 2.6	▲ 3.1	▲ 2.0
	2月	▲ 3.3	▲ 3.8	▲ 1.4	▲ 12.2	4.1
	3月	▲ 28.0	▲ 30.7	▲ 16.3	▲ 33.4	0.8
	4月	▲ 68.8	▲ 76.2	▲ 37.2	▲ 72.8	▲ 4.5
	5月	▲ 61.4	▲ 69.1	▲ 28.2	▲ 65.6	1.3
	6月	▲ 15.0	▲ 17.1	▲ 7.0	▲ 19.1	3.4
出典	日本ショッピングセンター協会			百貨店 協会	チェーン ストア協会	